活動報告:　札幌市里親促進フォーラムに参加しました

「ここはあなたの家です」。札幌市里親会のスローガンです。平成29年10月25日、札幌市の教育文化会館を会場として札幌市里親会と札幌市を主催者として「平成29年度札幌市里親促進フォーラム」が開催されました。

午前の部では札幌市の３人の里親さんの養育体験発表と意見交換でした。最初の方は実母は重度の知的障害があって養育困難な１歳児を預かり、祖父母とは良好な交流をすることが出来て、３歳からは実家にお泊まり、家族ぐるみで旅行にも行くようになった。しかし、小学生になってから実母の障害に気付いて困ったこともあったが、今は１～２ヶ月に１回くらい泊まりに行くとのこと。２番目の里親さんは55歳で里親登録し、高校２年生の女の子を預かったが、勉強はしない、言い訳がひどく、すぐに人のせいにするなどの問題行動に悩まされたが、子どもと同じ土俵には立たず、一旦は突き放すなどしながら、諦めずに長い目でゆったりと育てるなどを心がけた。3番目は2011年にファミリホームを始めて、現在は妻と補助者２名で６人の子（内４人が障害手帳を持つ）を養育している里親さんが、４歳で委託された自閉症の子を中学生になるまでの養育した体験と、知的障害のある中学２年生の女の子について、不登校を対処しながら何とか高校に入学させたが、今も自家用車で送るなどの苦労が絶えないとの体験談を聴きました。

午後からは「伝えるのは命、つなぐのは命」～今は未来のために～　との演題で、旭川市旭山動物園の板東元園長の特別講演を聴きました。いじめられっ子だった小・中学校時代に、カマキリやヤモリなどの動物を飼って過ごしたが家族は黙って許してくれたこと、かつての動物園は珍しい動物を見せることで人を呼んだが、今はアザラシやペンギン、カバなどありきたりの動物の自然のありのままの姿（本来もっている価値）を見せることで人気が出るようになったこと、オランウータンは７，８歳まで母親と一緒にいて、食べ物や出産・育児などを間近で見ながら覚えて一人前になることなど、体験と知識に基づいたお話をユーモアたっぷりで聴かせてくれました。

活動報告：「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」による寄贈を受けました

先にお知らせしたように本年の５月から、イオン北海道株式会社で行っている「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に中央地区里親会として団体登録をしていますが、前期分（2017年４月～８月）が締め切られて精算されました。毎月11日にイオン江別店で買い物をしたお客様から中央地区里親会に総額（専門店街の投函も含めて）1,376,599円の黄色いレシートの投函がありました。レシート合計金額の１％に相当する13,800円をイオンギフトカードで寄贈を受け、10月14日に開催された贈呈式で佐藤副会長が受け取りました。ギフトカードは11月30日までに使用することが求められていることから、会長と副会長、会計および事務局で相談して１月に開催される中央地区里親会冬季研修会の交流会で計画されているビンゴゲームの景品の購入に充てることとしました。

引き続いて2018年２月11日までの後期キャンペーンにおいても、毎月の11日にイオン江別店でお買い物をされた際には、黄色いレシートを中央地区里親会に投函してください。なお、友人やお知り合いにも伝えていただければ幸いです。

北海道中央地区里親会事務局　担当：水島　俊一
連絡先：069-0853 江別市大麻高町18-4　Tel & Fax：011-387-8765, Email:kitanezumi@gmail.com

情報:　「未来のつばさ自立奨学支援制度」の紹介

「これからひとり巣立っていくみなさんの、最初の一歩を支えたいという大勢の人の願いから生まれた支援制度」として「未来のつばさ自立奨学支援制度」の2017年度（平成29年度）の募集について、北海道里親会連合会から連絡がありました。その概要は以下のようです。

○**募集期間**　2017年11月1日（水）～2017年12月22日（金）当日消印有効
○**支援対象者**　１．申請時に里親家庭や児童養護施設などの児童福祉施設に入所している児童
２．原則18歳を迎え就職（原則として正規社員）・進学（大学、短大、専修・専門学校、職業訓練校など1年以上にわたる教育課程があり、知識・技術の習得を目的）する児童
○**支援内容**　支援予定者数　200名、就職・進学の支度金として一人15万円（返済義務なし）
○**申請方法**　所定の申請用紙に記載、推薦書、アンケート、作文、高等学校所定の調査書と郵送

申請書類は指定サイト（http://www.mirainotsubasa.or.jp）からダウンロード出来ますが、インターネットを利用出来ない方は、中央地区里親会事務局までご連絡ください。

情報:　「北海道真狩高等学校」の紹介　（斉藤佐智子さんからの情報）

中学生の子を養育されている方には、その子の進路がそろそろ気にかかることと思います。高校を卒業したら出来るだけ早く自立したい、農業や食料に興味がある、またはいろいろな資格を取得したいなどの希望を持つ子に役立つ情報として、「北海道真狩高等学校」の案内を真狩村の斉藤さんから寄せていただきました。その概要を紹介しますので、参考にしていただけたら幸いです。

真狩高校の特長は、①「食」に関する知識と技術を身につける学校、②「有機農業」と「野菜製菓」のコースがあります、③農業クラブ活動、部活動に力を入れています、④遠隔地の生徒のための寄宿舎があり、原則として毎週末は保護者宅に帰宅、真狩と札幌間の送迎バスが運行、⑤真狩村からの教育支援と就学補助（資格検定料の半額補助、帰寮バスの半額補助、見学旅行費の1/3補助など）があります。

特に「野菜製菓コース」は、作物栽培の基本を学ぶとともに、野菜を素材とするお菓子やパンへの加工や調理技術を習得し、農業と食に関する幅広い視野を持つ食品のスペシャリストの育成を目指しており、取得可能な資格は製菓衛生師、食品衛生責任者、危険物取扱者、農業技術検定、ワープロ検定、実用英語技能検定、簿記検定などがあります。

お知らせ:　平成29年度中央地区里親会冬季研修会の開催について

本年の開催日時と場所が決まりましたのでお知らせします。
○**日時**：平成29年1月28日（土）午後1時 ～ 29日（日）10時
○**場所**：札幌市保養センター駒岡（札幌市南区真駒内600-20　Tel.011-583-8553）

研修内容や参加費などの詳細については、同封されている案内状をご覧下さい。ぜひ大勢の皆さんが参加されて、里親としての資質向上に向けた学習と、子ども達も交えた楽しい交流を期待します

北海道中央地区里親会事務局　担当：水島　俊一
連絡先：069-0853 江別市大麻高町18-4　Tel & Fax：011-387-8765, Email:kitanezumi@gmail.com